

学力分析シート【学年：2年 教科：社会】

実施日：令和2年1月22日

実施テスト名【 実力テスト 】

作成者【 田中 達朗 】

課題が大きいと考えられる問題（正答率が低い、県との差が大きい）

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
2-(2)	「気候区分」 世界地図から指定された地点がどの気候区分になるかを選ぶ。	57.6	61.8	用語として「乾燥帯」や「温帯」などの気候区分を覚えてはいるが、地図上で理解することができていない。	技能を向上させるために、地理の学習をする時、白地図を使った学習を増やす。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
4-(5)-②	「キリスト教」 ローマ帝国で認められた国教を答える。	34	38	問題文中の「西アジアで生まれた」に引っ張られ、「イスラム教」と誤答する割合が高かった。	ICTなどを使い、世界地図を示すことで、視覚的な支援をし、地域名だけでなく、その場所を指し示す。

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
5-(3)-①	「冠位十二階の制度」 定めた目的について、「家柄」、「能力」を用いて説明する。	38.9	45.3	部分正答率が県平均よりも高いことから、「冠位十二階の制度」自体は理解しているが、それを説明することができていない。	・表現力を育てるために、定期テスト等で、用語を説明させる機会を頻繁に作る。 ・授業のまとめをしていく際に、キーワードを指定して生徒に説明させる。

例

問題番号	趣旨	正答率(%)		分析	取組
		自校	県		
1四 (1)ア	「対象」 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	39.1	48.2	「対象」と書かなければならないところを「対称」や「対照」と間違える児童が多かった。算数科の「対称」と間違える児童が多い。同音異義語に課題がある。漢字の意味を考えながら漢字の習得が図られていないと考えられる。	○新出漢字の学習時には、同音異義語を指導する。 ○宿題の漢字練習においては、字形の練習だけでなく、熟語の練習も行う。(例)対称な図形をかく。 ○新出漢字の練習を学期の始めに実施し、反復練習を行う。